



学校は地域と共に歩んでいます。宮城県内の小中学校の様子、自慢できることを、児童・生徒が紹介します。



南中山小

## 掲示板に手紙 交流深める



これがイチオシ

### 開校40周年キャラ誕生

南中山小学校は、今年で40歳になります。開校40周年記念で、二つのマスコットキャラクターが生まれました。

一つ目は、児童会のシンボル「たんぽぽ」をイメージした「たんぽぽマン」=写真左=です。校章を付けたこのヒーローは、子どもの夢を綿毛に乗せて届けます。二つ目は、学校の校木と校章がモチーフの「もくまる」です。頭と耳に、学校のシンボルのハクモクレンとマンサクの花がデザインされています。

今後、このキャラクターをもっとみんなに広めていきたいです。

みなかなやま 南中山小学校は、仙台大観音がとても近くにあります。私たちの学校では毎年、児童会でスローガンを決めています。本年度は「かがやく笑顔南っ子」です。達成するために、代表委員会で二つの取り組みをしようと決めました。手紙には、たくさんのがとう手紙」です。ありがとうを伝えたい人に手紙を書き、掲示して伝え合う取り組みです。今、掲示板には、たくさんのありがとうございました。手紙が貼られており、お互いに読み合って、温かい気持ちにきる学校を目指します。

心触れ合う、ありがとうの手紙



校名 仙台市立南中山小学校  
所在地 仙台市泉区南中山2の24の14  
創立年 1985年  
電話 022(376)2003  
校長名 小野 康晃  
児童数 262人

編集委員 安藤こうき、遠藤央人、ロジャース晴斗、皆川世名、澤田石惇太、津田樹志（6年）高野和樹、秋村聰太、丹野愛莉、中村悠歩、森下夏奏、沼田夏芽、田村美陽、小枝美桜（5年）  
指導教員 斎藤雅人、小野香織、天野倫子

### 「ありがとう」伝え合う

## わが校わがまち スクール通信



次回は  
蒲町小（仙台市）  
名足小（南三陸町）

## 元気に「おはよう」大切に

高清水小

高清水小学校の三つの特色を紹介します。一つ目は、元気な地域の人々が毎朝、校門で校長先生と元気におはようと元気な挨拶をして1日の生活がスタートします。また、地域の人々が毎月1日と15日に来て元気な運動をしてくださいます。児童会でも、元気な活動をするために話し合い、「ピカーン」「おひねこ」「キラーン」の元気なキャラクターを作りました。

二つ目は、ノーチャイムです。私たちは、チャイムが鳴らなくても、休み時間が終わる時刻になると、時計を見たり声をかけ合ったりして教室にかけ合ったりして教室に戻り、座って始業開始を待っています。



上：元気なキャラクター  
下：外国籍児童もみんな仲良し



編集委員 武田望愛、竹内愛音、佐藤京之介、大関怜（6年）黒澤涼太、武田颶一郎、高橋愛菜（5年）  
指導教員 近藤隼人、千葉しづえ

### あいさつキャラを作成

高清水小学校の三つ目の特色は、校内外の友達が一緒に過ごし、全校も休み時間も一緒に過ごし、全校国籍の友達は日本語の勉強を頑張っているので日本語が上手になってきてこのような特色があります。これからも、国際的に関係なく仲良くしていきたいです。

高清水小学校で、私は明るく、楽しい学校生

活を送っています。

このように関係なく仲良くしていきたいです。



これがイチオシ  
上から見ると船の形に

高清水小学校は152年の歴史がある学校です。校舎の最大の特徴は、真ん中が筒のような形をしており、上から見ると船の形に見えます。

校舎の屋上には大きなプールがあり、田園風景を見下ろしながら水泳の授業をしています。全校のみんなでプールの清掃をし、きれいになったプールで授業が始まります。4階には町を一望できる円形の音楽堂があり、児童の歌声や演奏が響いています。

長い歴史とともに、個性的な校舎が今もわたしたちを見守っています。

学校名 栗原市立高清水小学校  
所在地 栗原市高清水西善光寺21  
創立 1873年  
電話 0228(58)2161  
校長 門脇 伸  
児童数 97人

## ウナギの幼魚1000匹放流 登米 大きく育ち 長沼きれいに



登米市近町の長沼の水質環境改善を目指し、長沼漁協はウナギの幼魚約1000匹を沼に放流した。ウナギがプランクトンなどを食べ、水質浄化につながるという。

2009年に始まった秋の恒例行事で今年は2日があった。同市の少年野球チーム「北方小朋友アーティーズ」の選手ら子どもたち6人が参加。袋やバケツから飛び出した10～20センチに育った二ホンウナギをつかんで大喜び。船上と桟橋から沼に放つた。

た。

子どもたちは「ぬるぬるしてぎのほか、コイ、ワカサギも放つて沼をきれいにしてほしい」と感想を述べた。長沼漁協ではこれまで、ウナギのほか、コイ、ワカサギも放つてきた。阿部正一組合長（79）は「長沼の水は農業用水にも使われる。子どもたちは、沼を守る気持ちを学んでほしい」と話した。（11月12日朝刊より）

「スクールシティ」は、仙台市内の小学校、6年生がお仕事をしていく「小さな街」です。河北新報社は、新聞づくりなどの仕事を体験する支局を開設しています。



河北新報の仕事  
仙台市スクールシティ支局員紹介  
がんばつた



八幡小6年

（11月5日）

寺岡小6年  
（11月6日）